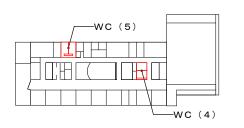
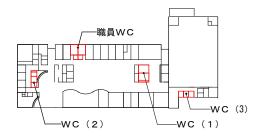
# (1)器具の算定

・空気調和・衛生工学会規格「SHASE-S 206-2019 給排水衛生 設備規準・同解説」を用いて適正器具数を算定する。



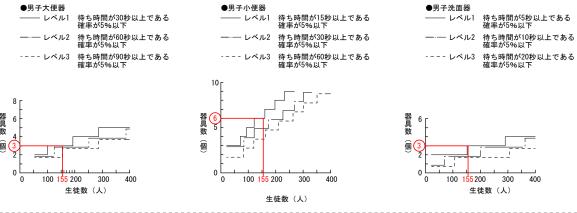
〈2階キープラン〉 s = 1/2000



〈1階キープラン〉 s = 1/2000

### ◆必要器具数

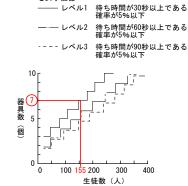
### 〈男子便所〉生徒155人を想定

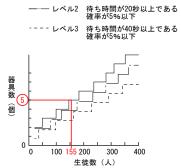


●女子洗面器

#### 〈女子便所〉 生徒155人を想定 ●女子便器

- レベル1





待ち時間が10秒以上である 確率が5%以下

サービスレベルについて レベル1:ゆとりある器具数 レベル2:標準的な器具数 レベル3:最低限度の器具数

### ◆設置器具数

#### 器具数リスト[男子便所] 男子生徒 155人を想定

階数	便所番号	男子大便器	男子小便器	男子洗面器
2F	男子(5)	3	4	3
	男子(4)	3	3	3
1F	男子(3)	1	2	1
	男子(2)	1	1	1
	男子(1)	3	3	3
計		11	13	11

今回の野辺地小学校はサービスレベル1にて器具数を計画し、

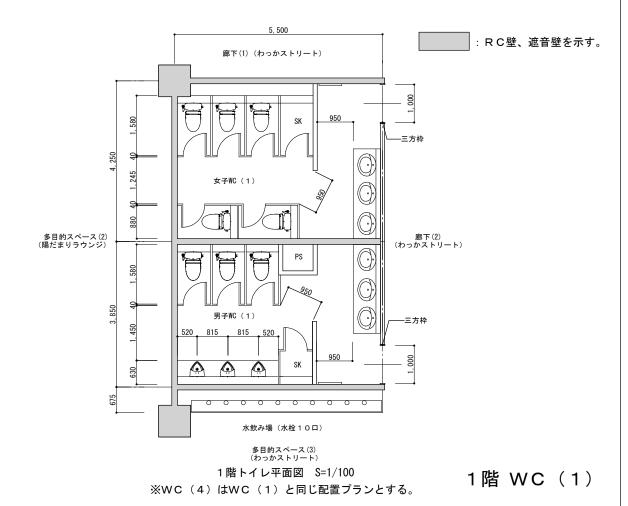
- ・男子大便器:生徒人数155 (想定)の必要器具数3個に対し、設置器具数11個。
- ・男子小便器:生徒人数155(想定)の必要器具数6個に対し、設置器具数13個。
- ・男子洗面器:生徒人数155(想定)の必要器具数3個に対し、設置器具数11個。

#### 器具数リスト[女子便所] 女子生徒 155人を想定

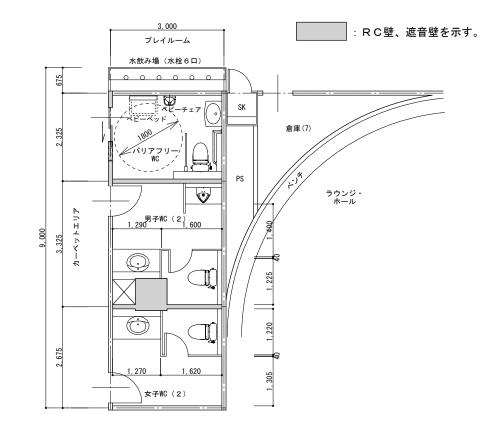
階数	便所番号	女子便器	女子洗面器
2F	女子(5)	5	3
	女子(4)	5	3
1F	女子(3)	2	1
	女子(2)	1	1
	女子(1)	5	3
計		18	11

- 今回の野辺地小学校はサービスレベル1にて器具数を計画し、
- ・女子便器:生徒人数155 (想定)の必要器具数 7個に対し、設置器具数 18個。
- ・女子洗面器:生徒人数155(想定)の必要器具数5個に対し、設置器具数11個。





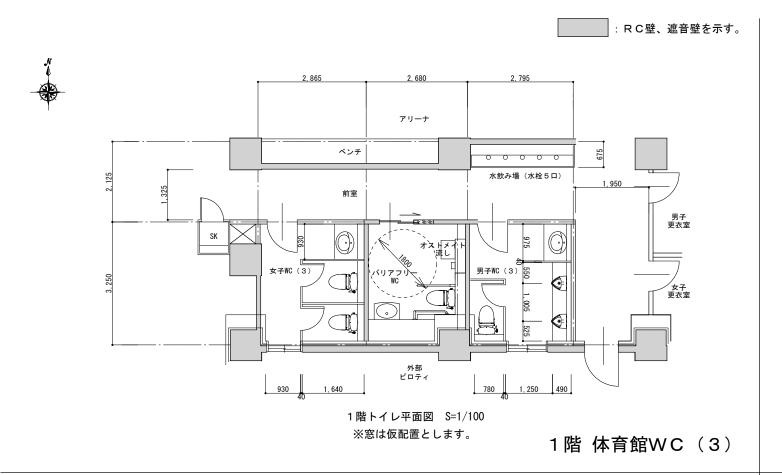


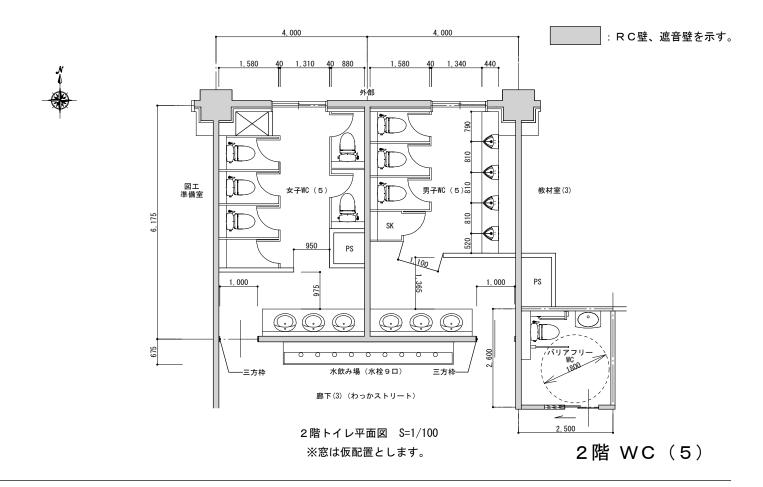


1階トイレ平面図 S=1/100

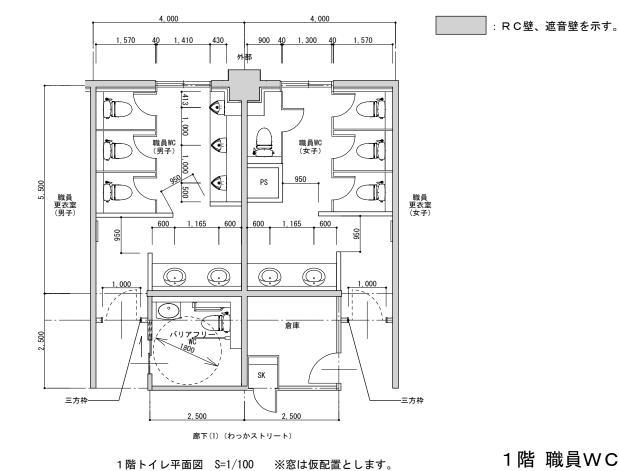
1階 WC(2)

## トイレ計画









〈確認事項〉

以下の点について、野辺地小学校のトイレの在り方を確認願います

- ・便器の種類について、1階の低学年用トイレに小さめの便器を一つ
- ・学校トイレの先端事例では、性的マイノリティや1人になりたい児童・生徒が使用する際の配慮から、 男子トイレの小便器を無くし、すべて個室トイレにしている例もあります。 大便器ブース利用の抵抗感を無くす配慮にもつながっているようです。
- ・手洗いコーナーをトイレの外(入口前)に出して、多様な学年やクラスのコミュニケーションを 誘発する例もあります(その場合、身だしなみを整えられるようトイレ内に鏡を設置)。
- ・女子トイレ大便器ブースには、消音装置(音姫)を標準に設置します。 男子トイレは不要と考えてよいでしょうか。
- ・大便器は、温水洗浄便座(ウォシュレット)、便座ヒーターの対応としますか